

2019年ラグビーワールドカップ普及啓発事業

【事業目的】

2019年に開催されるラグビーワールドカップ日本大会の成功に向けて、「タグラグビー」や「学外クラブ」などを活用して、小・中学生年代をはじめ、幅広い層へ、ラグビーを普及・啓発するとともに、ラグビーを通じた国際交流を促進する。

事業概要

1. 「タグラグビー」による普及

小・中学生年代を対象に「タグラグビー」を活用して、ラグビーの普及・拡大を図る。

2. 放課後ラグビーの普及

平日の放課後もラグビーが出来る環境を整備し、中学生等の競技者拡大を図る。（新しい学外クラブ創設等）

3. ラグビーを通じた国際交流

国際感覚の養成、英語能力の向上を目指し、ラグビー先進国との国際交流プログラムを実施する。

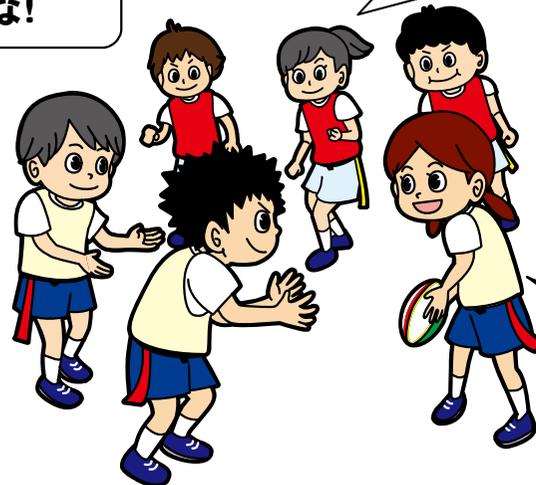
タグラグビーとは

タックル等の激しい身体接触をなくしたラグビーであり、運動が苦手な子供たち、学年や性別を問わず誰でも活躍できて安全に楽しむことができるボールゲームのこと。

2008年改訂の小学校学習指導要領の解説体育編に、小学校の体育授業で教えるボールゲームの一つとして新たに例示に追加されている。

中学校でも絶対ラグビーやりたいな!

☆タグラグビーって楽しいね!
☆体育の授業が待ち遠しいね!



男女一緒にゲームができるね!

